



恩地孝四郎画



企画展

山本有三

翻訳ものの世界

会期：令和元年(2019)9月7日(土)～令和2年(2020)3月8日(日)



Yamamoto Yuzo

開館時間：午前9時30分～午後5時

会場

三鷹市山本有三記念館

休館日

月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、翌日と翌々日を休館)

※9/17・18・24・25、10/15・16、11/5・6、12/29～1/4、1/14・15、2/25・26は休館

入館料

300円(20名以上の団体200円)  
年間パスポート 1,000円

\*中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

\*「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」利用者は無料

\*年間パスポートの有効期限は、交付日から1年間です。

同記念館受付にてお買い求めいただけます。



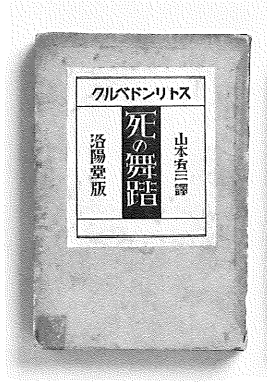
主催：公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団／三鷹市  
協力：東京都立多摩図書館



山本有三〔1887-1974〕は、大正4(1915)年に東京帝国大学を卒業した後、新派三角同盟一座の座付き作者(\*)となりましたが、役者に対する作者の無力を痛切に味わったことから、翌年、幕内生活に見切りをつけています。その後しばらくは創作から離れて、ストリンドベリなどの外国作家の翻訳に取り組み、己の作風を模索しながら、様々な要素を吸収していきました。

この期間を経て発表された戯曲「津村教授」(大正8年)、「生命の冠」、「嬰兒殺し」(大正9年)などには、有三が翻訳によって学びとった、人間を描くための精緻な心理描写を見ることができます。

また、昭和4(1929)年の翻案戯曲「盲目の弟」(\*\*)では、原作に忠実でありつつも、兄弟の情愛により焦点を当てて描き、昭和10年に発表した詩「心に太陽を持って」では、原作であるフライシュレンの詩を、より力強い言葉によって大胆に意識しています。原作の味わいを取り込み、「有三らしさ」を作品にいかんなく注ぎ込んでいることがうかがえます。



ストリンドベリ『死の舞踏』  
(洛陽堂 大正5年9月)

本展では、時代ごとの翻訳ものに焦点を当て、原作から吸収した要素によって、有三がいかん彼ならではの作風を築き上げていったかを探ります。

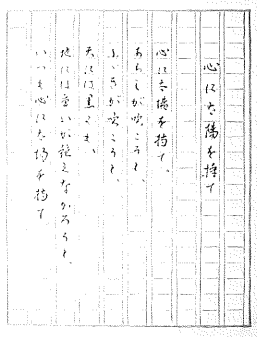
『死の舞踏』(大正5年)『情婦殺し』(大正15年)といった若き日の翻訳作品や、「心に太陽を持って」の原稿、有三の芸術観がうかがえる随筆の初出誌等、様々な資料と共に楽しみください。

\*…芝居の一座や劇場に専属して脚本を書き下ろす作者のこと

\*\*…原作はアルトウール・シュニッツラー「盲目のジェロニモとその兄」



シュニッツラー『情婦殺し』  
(新潮社 大正15年8月)



「心に太陽を持って」  
(年代不詳)



## 秋の朗読会

文化の日、紅葉深まる秋の記念館で、  
朗読に耳を傾けませんか。

日時：令和元年11月3日(日・祝) 18:00～19:30

出演：瀬戸口 郁(文学座)

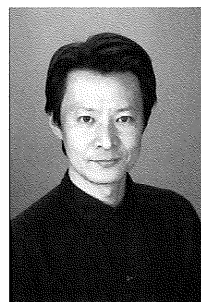
定員：35名

参加費：入館券(300円)が必要です。(※年間パスポート(1,000円)もご利用いただけます。)

プログラム等詳細は、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

応募方法：往復はがきに①参加者氏名(2名様まで)、②代表者の住所・電話番号、  
③何を見て応募したか、④返信用はがきに宛先をご記入の上、当記念館「朗読会係」  
までお送りください。

締切：10月11日(金)必着 \*お1人様1応募限り。応募多数の場合は抽選となります。



提供：文学座

<ガイドボランティア> 土・日・祝日の午後1時～4時に解説を行っています。事前申込は不要ですので、お気軽に声をおかけください。団体利用は2週間前までに要申込(平日の解説も可)。

## 三鷹市山本有三記念館

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀2-12-27

電話：0422-42-6233

ホームページ：http://mitaka-sportsandculture.or.jp/yuzo/

### アクセス

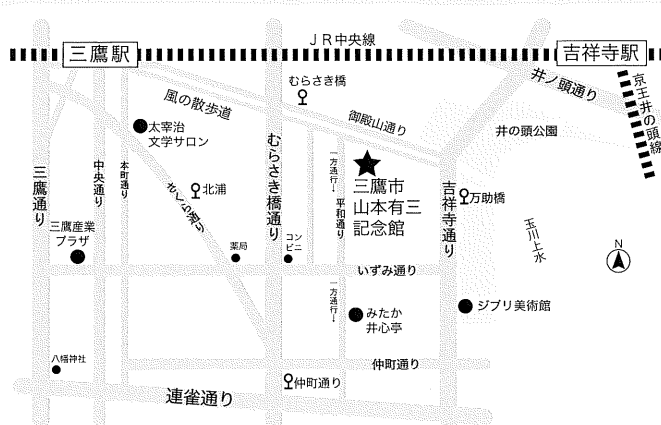
電車：JR中央線「三鷹駅」南口より徒歩12分

JR中央線・京王井の頭線

「吉祥寺駅」南口(公園口)より徒歩20分

バス：三鷹駅南口よりみたかシティバス「むらさき橋」下車徒歩2分

吉祥寺駅南口より小田急バス「万助橋」下車徒歩5分



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団